

まち角通信

(第19号)

発行 運営体事務所
電話 55-4808

古城山整備事業報告 (第二弾)

ボランティアの皆さんを募集して行われた古城山整備事業。

第3回目整備は7月24日(日)の猛暑の日に行われました。

この日はボランティア男性11名、女性4名の皆さんと運営体の役員10名で、遊歩道の整備や広場の草刈り等を実施しました。

今まで、遊歩道は蔓や蔦、伸びた枝等で歩くこともままならない状態でしたが、皆さんのおかげで歩いて登れるようになりました。



ボランティアの皆さんと熱中症にならないために一服

遊歩道の整備



第4回目の整備は10月5日(水)に行われました。この日は男性6名のボランティアの皆さんと運営体役員9名が参加。

枯れた木の伐採や、下草刈り等で汗を流しました。

そのおかげか、今年の古城山のもみじの紅葉は見事で、下草がないせいも落ち葉も地面一面に敷き詰められ、とても綺麗でした。



色鮮やかなもみじ
落ち葉も地面一面に

イルミネーション点灯式

今年も横町丁内街路樹と駅前にイルミネーションを行います。小さいお子様たちに点灯していただきますので、多数の皆様のお越しをお待ちしております。(わずかですが、おやつも準備しております。)



昨年の駅前
タクシー乗り場付近

下記の通り、点灯式セレモニーを行います。

12月4日(日) 午後4時30分～
(横町岡田様宅付近にお集まりください。)

古城山整備 ボランティアに参加して

竹原町 熊谷均

古城山の見える景色と、山上から見渡す町並みや山々は子供の頃からの大切な風景です。近年は夏場に行く到下草や雑木で斜面が覆われて見通しも良くありませんでした。

今回、整備事業の開始を知りボランティアに参加しました。枯木の伐採や処理は技術のある方たちがあたり、私は下草刈、蔓や蔦の撤去と枝払いでしたが、慣れない鉋や鎌を使いながら作業に参加しました。作業の合間には雪渓の残る鳥海山の遠望に癒されました。

駐車場付近は明るくなり、公園や東屋周りの草地も風通し良くなりました。良い汗をかき、眺める景色は格別です。自分達の手でできる事をやるこの事業は誰でも参加できる地域交流の場です。これからも参加したいと思っています。



東屋付近から鳥海山を望む

灯籠流し

8月16日(火) 開催

申し込みのあった100個の灯籠を流し供養しました。

運営体の小林会長に同期生慰霊のため「灯籠流し」をしたと伝え相談したところ、快諾して頂き参加することが出来ました。

今回は「恩師と同期生全員」を一つと、高野吉治先生と「同級生女子三人」、それにもう一つ「同級生男子四人」の計三



遺族代表挨拶

平成20年に中学校卒業50年を記念して「角館中学校昭和34年三月卒業生」の供養塔を報身寺に建立しました。その時の物故者は、恩師の先生3名と23名の同期生でしたが、歳を重ねるにつれて欠けてゆき、19名増え42名になってしまいました。20年に建立してからは、その都度書き加えていきます。

「灯籠流し」

に参加して
七日町 武藤啓司



漫談で笑い疲れました

また、記念品として「防災セット」を頂き、誠にありがとうございました。来年も是非参加したいと思

平成28年9月28日(水)、花葉館において開催されました。75歳以上の一人暮らしか夫婦世帯が対象でしたので、私も夫婦も2回目の参加をさせて頂きました。当日は、送迎バスが自宅近くまで来てくれて、本当にありがとうございます。祝宴会場は椅子席で、弁当等が整然と準備されていて、座るのに緊張感を覚えました。初めに地域センター長の小松誠一氏の挨拶、包括支援センター所長の浅利和磨氏の講演があり、宴会が進むにつれ、民謡・漫談・手踊り・新舞踊等が披露され、一時間余りの間、同年配の友人や町内の知人と忌憚のない話合いをして楽しく過ごすことが出来ました。



裁判所通り

金田 晃

角館まちづくり地域運営体主催
第三回 敬老会に参加して

子育て支援事業 (さくらッコとの共同事業)

雛っこ餅作り募集

カラフルでかわいい雛っこ餅をお子さんと一緒に作ってみませんか？
勿論、おばあちゃんも大歓迎です。

2月14日(火)10:00～
場所 / 健康管理センター
持物 / エプロン、三角巾、
お手拭き等

詳しくは、仙北市広報2月1日号の子育てインフォメーション「さくらッコ」のコーナーをご覧ください。

リース作り募集

クリスマス&お正月リース
クリスマスとお正月の玄関飾りを手作りしませんか？

12月6日(火)13:30～14:30
場所 / 角館児童館2F図書室
(さくらッコ奥)
持物 / エプロン
受付人数 / 先着10名
申込締切 / 12月2日(金)

申込 / 角館まちづくり地域運営体
【☎ :55-4808】
(午前10時～午後3時厳守)



花火と灯籠の共演

つをお願いしました。当日は、「灯籠流し」の会場に積まれた灯籠に灯がともり、読経が流れ、「さら」の演舞が披露された後、いよいよ「灯籠流し」です。整備された道を通って、灯籠を川岸まで運び順次流しました。灯籠は花火が打ち上がる中、オレンジ色の蠟燭の灯を川面に揺らしながら流れて行き、それを同級生と見送りながら一緒に合掌しました。「灯籠流し」には個人的な負担はありません。灯籠は勿論、戒名や名前等も事務局で書いてくれます。先輩・後輩の皆さん、同期生等の慰霊のため来年計画してみましたか。【合掌】